

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表) %

公表： 令和3年12月28日

事業所名： 発達サポートbeing

保護者等数

18

回収数 14

	質問項目	はい	どちらとも		いいえ	わからない	ご意見
			いいえ	はい			
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されている。	100					
	2 専門性の高い職員が働いている。	64	21	14			保育士・元教員が働いていると聞いているが療育の専門性は疑問。
	3 職員の配置数は適切である。	64	7	14	14		
	4 事業所の設備等は、子どもが使いやすいように設計されている。	100					
	5 屋内外の環境は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。	100					
	6 屋内外の環境は、子ども達の興味や活動をそそるように整備されている。	93	7				屋外に、もう少し遊具があると良い。
適切な支援の提供	7 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、個別の支援計画が作成されている。	71	14	14			
	8 個別の支援計画に基づいて支援が行われている。	71	14	14			
	9 活動プログラムが固定化しないよう工夫されている。	79	21				
	10 障がいのない子どもと一緒に活動・交流する機会を事業所は提供している。	29	21	7	43		
保護者への説明等	11 契約や担当者会議の折に、支援の内容、利用者負担について丁寧な説明がなされた。	79	21				会議では、支援内容がよく分からなかった。
	12 日頃から、事業所は子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を深めている。	57	14	14	14		子どもにどんな課題が必要で有効なのか話す機会が欲しい
	13 保護者に対して個別相談や面談、育児に関する助言等の支援が行われている。	100					
	14 保護者同士が同席する機会もあり、保護者同士の連携が支援されている。	29	50		21		家族会を開いてほしい

		質問項目	はい	どちらとも	いいえ	わからない	ご意見
	15	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している。	64	21		14	
	16	事業所は、子どもや保護者が気持ちや情報を職員に伝えやすい雰囲気を作っている。	64	29	7		職員の対応はいまいち。
	17	活動の予定や概要、報告等が子どもや保護者に対して発信されている。	86	14			定期的に動画で見せて欲しい。
	18	個人情報の取り扱いに十分注意されている。	79	14		7	
非常時等の対応	19	緊急時対応、防犯、感染症対応について、契約時の”重要事項説明書”やマニュアル等を活用して説明を受けている。	79	21		7	
	20	非常災害を想定して定期的に避難、救助、その他の訓練をしている。	21	7	7	64	定期的に行って欲しい。
満足度	21	子どもは通所を楽しみにしている。	86	14			
	22	(保護者は) 事業所の支援に満足している。	50	50			

回収率 77.8 %

ご意見を踏まえた対応

常勤・非常勤に関わらず、療育の専門資格を有している。

規定に準じている。しかも規定を超える配置をしている。

考えてはいるが、遊具等に対する助成はないため、現実的には難しい。

療育指導部長は特別支援教育の専門家を配置し児発管と連携して計画を立てている。

標準化されたアセスメントツールや行動観察チェックリスト等を使い、適切にアセスメントが行われるように留意している。

子どもたちは学校に通っているので、積極的には考えていないが、検討する。

個別の支援計画を分かりやすく説明するように心がける。

参観日等を設け、保護者にお会いする機会を増やすことを検討したい。

土曜日を交流の時間としている。平日は難しい。

話しやすい雰囲気づくりに務める。
ニュースレターの定期発行HPの利用を検討中。
年度内に予定している。保育・教育施設のように毎月の実施は、事業所の性質からして難しいが、どんな実施が望ましいか検討する。

